

令和6年度 市川町商工会 「経営発達支援計画」 事業実施評価表

	指針別項目・事業	年度目標	実施結果	評価結果	委員評価・意見など
I. 経営発達支援事業の内容					
1. 地域の経済動向調査に関すること	・中小企業景況調査 ・兵庫県の経済動向調査 ・管内の景気動向等について商工会職員が行う調査	年4回	年4回	A	掲載時期は遅れたが目標通り達成されている。調査方法の変更（効率化）や調査結果の有効活用について検討が必要である。
2. 経営状況の分析に関すること	・事業計画の策定に関するセミナー（個別相談会含む）の開催 ・経営指導員等による巡回指導・窓口相談及び専門家を活用した支援	25社	15社	C	目標達成できるよう、補助金のためだけでなく、日ごろからの経営状況分析の必要性を経営者にもっと認識させ、課題解決に繋がるような分析を行うなど、持続可能な経営の指導が必要である。
3. 事業計画策定支援に関すること	・事業計画の策定に関するセミナー（個別相談会含む）の開催 ・経営指導員等による巡回指導・窓口相談及び専門家を活用した支援	15社	15社	A	目標は達成できているが、積極的なアプローチが必要。補助金獲得のためではなく、持続的経営のため自社の将来を見据えた経営計画策定の重要性の啓蒙が必要である。
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ 対象事業者数	15社	8社	B	フォローアップ対象が少なかったが、半分程度の事業者が売上増加と営業利益率の増加を達成出来ていることは、一定の成果があると考えられる。実行可能な事業計画の策定とそれに対するフォローアップを期待する。
	頻度（延回数）	70回	70回		
	売上増加事業者数	8社	4社		
	営業利益率2%増加事業者数	6社	4社		
5. 需要動向調査に関すること	支援する個社の数（アイアンヘッドメーカー）	2社	1社	C	コロナ後の需要動向が大きく変化している為、調査手法の見直しが必要である。アンケート結果が新商品・サービス等に反映でき、売り上げ増加に繋がる支援を期待する。
	支援する個社の数（地域資源活用関連業者）	4件	1社		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	国際フロンティアメッセ 出展事業者数	1社	1社	B	出展件数は目標に達しているが、成果が伴っていないので、理由の分析とフィードバックを行い、事業所の販路拡大に繋げる必要がある。示会等に頼らない需要開拓への模索も必要である。
	国際フロンティアメッセ 出展支援による成約件数	2件	0社		
	大阪ギフトショー出展事業者数	1社	1社		
	大阪ギフトショー出展支援による成約件数	2件	0社		
	ゴルフ用品業界団体の展示会出展事業者数	1社	1社		
	ゴルフ用品業界団体の展示会出展支援による成約件数	2件	3件		
	販売促進支援事業者数	2社	2社		
	販売促進支援による年間売上増加額/社	30万円	-		
II. 地域経済の活性化に資する取り組み					
1. 地域経済の活性化に資する取組				B	トラック（愛アン8-10号）を活用した町外への試打会（ゴルフクラブ発祥の地のPR）協力など、町外へのPRという形で継続していただきたい。地域振興課、企画財政課等とも連携をより深め、商工会と共に横ぐしを通した取り組みが重要である。
III. 支援力向上のための取り組み					
1. ⑧の支援機関や隣接商工会等との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること				B	コロナ禍以降、職員の支援能力は確実に向上しており、指導ノウハウの共有は少しずつ進んでいる。単会のみでの指導体制から広域での指導体制へ移行していける体制づくりが求められていると感じる。「市川町担い手連絡協議会」については、農業者への支援に期待する。
2. 経営指導員等の資質向上に関すること					
3. 事業の評価見直しをするための仕組みに関すること					
総括的評価内容	小規模事業者の販路拡大・事業拡大に必要な補助金等の申請に必要な事業計画の策定支援については、事業の効果が見て取れるため今後も継続が必要である。また、広域エリアでの共同支援業務ができる環境構築をいち早く築くことが職員の支援レベルに直結するものとする。				

A：目標を十分達成している B：目標を概ね達成している C：目標を半分程度しか達成できていない D：目標をほとんど達成することができていない